

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年3月2日（月）

### 2 確認箇所

- ・ 5号機タービン建屋、6号機タービン建屋、6号機複合建屋（図1）
- ・ 1－4号機取水路開渠、東波除堤（図1）

### 3 確認項目

- （1）6号機タービン建屋で発生した火災への対応状況
- （2）港湾魚類対策の状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）6号機タービン建屋で発生した火災への対応状況

令和6年6月18日に6号機タービン建屋で火災<sup>\*1</sup>が発生したことを受け、東京電力では、再発防止の恒久対策として、母線<sup>\*2</sup>を絶縁物劣化の懸念がより少ない電源ケーブルへ変更した。

今回は、母線が敷設されている場所周辺の状況を確認した。（前回確認：[令和7年2月14日](#)）

- ・ 母線を電源ケーブルに変更する工事は完了しており、母線が接続されている電源供給盤M/C6C及びM/C6A-2はいずれも受電状態となっていた。（写真1）
- ・ 火災発生後の応急復旧として敷設された仮設電源ケーブルが残置されていた。（写真2）
- ・ 5号機タービン建屋内、6号機タービン建屋内及び6号機複合建屋内の状況を確認したところ、発煙等の異常は認められなかった。

#### ※1 6号機使用済燃料プールの冷却等が停止したトラブル

令和6年6月18日、6号機への電源供給盤（M/C6C）がトリップし、6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ（B）が停止した。また、6号機タービン建屋地下1階で火災報知器の発報及び発煙が確認された。現場確認の結果、床面から約7m高さに母線<sup>\*2</sup>を敷設しているダクトがあり、ダクトカバーに本来不要な金属片が挟まっており、それにより生じたすき間から湿気やほこりがダクト内に入り、導体支持板の絶縁が低下してショートしたものと推定。

#### ※2 母線

発電所や変電所から受け取った大容量の電力を電源供給盤へ分配する導線。

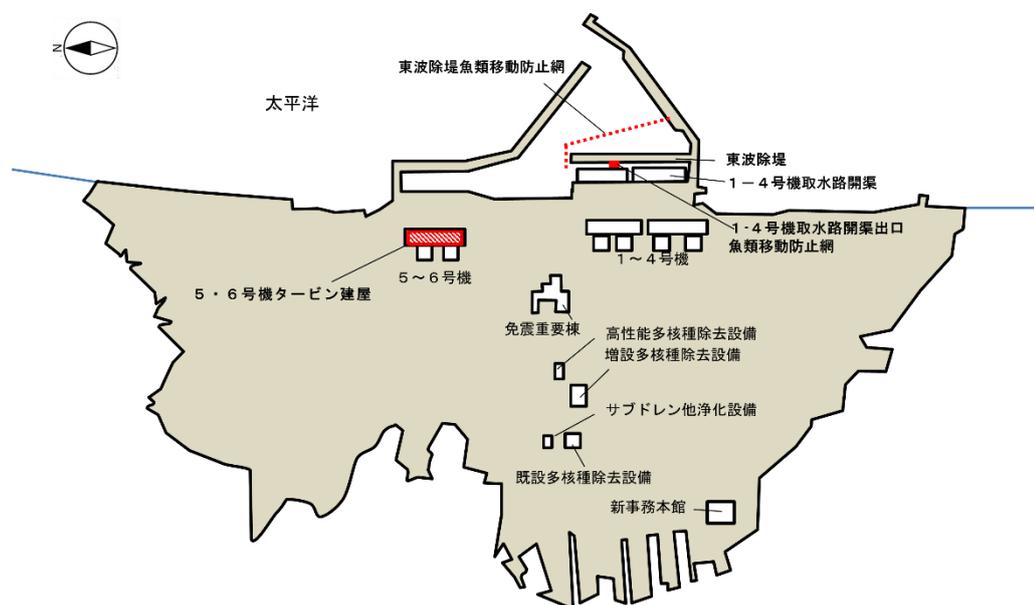
#### （2）港湾魚類対策の状況

東京電力は、港湾内で放射性セシウム濃度の高い魚類が確認されたことを踏まえ、放射性物質濃度の高い魚類の港湾外への移動防止を目的として魚類移動防止網等を設置している。

また、信頼性及びメンテナンス性の向上を図るため、東波除堤魚類移動防止網及び1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網のリプレイス工事を実施した（それぞれ令和6年3月及び令和5年9月に完了）。

今回は、それらの設置状況を確認した。（前回確認：[令和7年6月18日](#)）

- ・東波除堤魚類移動防止網を確認したところ、外観の異常（杭、網の破損等）は認められなかった。（写真3）
- ・1－4号機取水路開渠出口に設置された魚類移動防止網を確認したところ、外観の異常（破損等）は認められなかった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1－1)  
電源供給盤（M/C6C）の設置状況



(写真1-2)  
電源供給盤 (M/C6A-2) の設置状況



(写真2)  
仮設ケーブル残置の状況



(写真3)  
東波除堤魚類移動防止網設置状況



(写真4)  
1-4号機取水路開渠出口魚類移動防止網設置状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。